

こうほう

国府

第179号

2012.3月
平成23年度 3学期号

編集発行

〒747-0024

山口県防府市国衛5丁目11-19

防府市立国府中学校

P T A 広報部

印刷

大村印刷株式会社

生徒数490名

(男子248 女子242)

家庭数451

(2012.1.31現在)



contents

つた

伝えたいことが、
あるんだ。 ①・⑫

卒業おめでとう 先生からのメッセージ ②～③

3年生ひとことメッセージ「〇〇さんへ、ありがとう」 ④～⑧

授業参観に行こう! ⑨

PTAひろば ⑩～⑪



祝卒業

2012年3月10日、157名の生徒が卒業します



節目を大切に

校長 中村 清澄

御卒業おめでとうございます。皆さんは第五十八期の卒業生として伝統ある国府中学校から巣立っていきます。卒業後、皆さんが進む道は必ずしも平坦な道ばかりではないと思いますが、「志を失わない限り挫折はない」と言えます。自信と誇りをもって自分の道を邁進してください。

さて、竹はその節によりしなやかな強さをもち、真っ直ぐに伸びていくことから、元日本八木監督の大沢啓二さんは竹の節と人生の節目を重ね合わせ「竹は節目で伸びる」という言葉を残されました。この言葉の意味は、

「竹はしなやかに真っ直ぐ真っ直ぐへへへへと伸びていく。中略そんな竹は節目にて自らを伸縮し調整することによりしなやかに真っ直ぐと伸びていくのである。」

人は歳を取りだんだんどんどん大きくなっていく。どんな人でもいろいろな人との出逢いや様々な出来事が節目を刻んでいるはずなのだ。どんなことでもそれを節目と感じ、自らに活かせる人はしなやかに真っ直ぐと伸びていくのだらう」といふものですね。

入学、卒業も人生の大きな節目の一つです。入学は多くの出会いと新たな経験が待っている機会であり、卒業は心を新たに、さらに意欲を向上させるチャンスでもあります。特に中学校卒業は自分の力で自分の道を切り拓いていく第一歩となる大きな節目となります。2010年W杯南アフリカ大会日本代表の本田圭祐選手は「準備がすべへ」と語っています。ほとんどの人が社会人として足場を固めたところ、十年後の自分をめざしてこれからの十年間を夢の実現のための準備期間として努力してほしいと思います。卒業の日を成長の節目としてほしいと願っています。最後に卒業生の御健闘を祈念します。

去稚心

教頭 末富 禎則

幕末の英才、橋本左内は十五の時に、自身を奮い立たせその精神を忘れないうちに「啓発録」を書きました。その最初に書かれていたことが「去稚心」です。稚きを捨てよと書いています。自立し、自分の行動に責任をとれる人になれということだと思います。

この日本が未曾有の天災に見舞われた今、みなさんを取り巻く環境は決して明るいものではないかも知れませんが、どんな困難な時にも常に「真実を見つめる心」を通して、自己を見失うことなく「去稚心」を心に留め歩んでほしいと思います。

卒業おめでとうございませぬ。

最後まであきらめない

教務主任 藤井 英明

卒業おめでとうございませぬ。皆さんとは三年間とも過ごしてきましたから、それぞれの成長を強く感じている一人です。私にとっては男子バスケットボール部の顧問として、過去なかなか実現できなかった県の選手権大会最終日の試合を体験できたことが忘れられない思い出となっています。また、チームメイトとの絆も強く感じました。ある日、きつと練習で仲間一人がおう吐してしまったり、いやな顔もせず、二人がすぐに処理してあげた姿がとても印象に残っています。

皆さんは、いろいろな可能性を秘めている原石です。夢や目標をもちいろいろなことにチャレンジすることで光り輝く宝石になるのだと思います。ただ、そのために必要なことがあります。バスケット部の部旗にある言葉「最後まであきらめない」皆さんの夢の実現を祈っています。

感謝する気持ちを！

3年学年主任 藤井 一宏

今、皆さんが手にした卒業証書には22の文字が書かれています。「右の者は中学校の全過程を修了したことを証する」と。

「俺達のこの三年間はどこに書かれているのか。」と思う方もいらっしゃいます。実は皆さんの貴重な経験は、このたった22文字の文字と文字の中にあります。行間の中に思い出さるべきです。卒業証書がふたご出てきたら、もう一度読み直してみてください。まぎれなく今とは違ったことが読み取れるはずですよ。今はまだ気づかなくても、後から気づくことがあるものですよ。

ここまで大きくなったのは、決して自分一人の力だけではありません。温かく見守り育ててくださった人がいたからです。どうぞ、人に感謝する気持ちをもてる人になってください。卒業おめでとう。

2012 祝卒業 国府中を巣立つ 皆さんへ贈る言葉

一念天に通ず

3年1組担任 竹本 賢之

卒業生の皆さんはこれから新たな人生を多くの希望をもって歩んでいくわけですが、心の中には大きな喜びと不安で戸惑いもあるでしょう。しかし心配することはありません。強い意志を持ち、将来の夢を実現するために人生の羅針盤をしっかりと見定め、「一念天に通ず」の気持ちで一心不乱に突き進めば大丈夫です。また、新しい集団の中に入っていくことにも、悩み、挫折する事もあるでしょう。人は目の前のことにとらわれてしまし、「何のために」という「目的」を忘れてたり「目的」を確認しないまま事を進めてしまったりしがちです。「目的」は何をするにおいても大切なことなのです。これは、「自分の役割」と「目的」をさらに考え、自分自身を成長させることに努めてください。



はばたこう明日へ

3年4組担任 中村 佳紀

いつかはこの時が来ると思っていた悲しいけれど今は泣かないで、共に過ごした時を思い出して、なつかしい日々を楽しくあったことを心のキャンパスに描こう。

青い空のあなたにすずめ 無限の夢を抱きながら 翼をひろげ飛んでいくな いらいこと吹き飛ばし生きよう

共に過ごしたことを思い出して、二度と戻らない大切な日々を心のアルバムにしまおう

青い空のあなたにすずめ 無限の夢を抱きながら 翼をひろげ飛んでいくな いらいこと吹き飛ばし生きよう

卒業おめでとうございませぬ。

ありがとう

3年5組担任 上田 渉

三年生のみなさん、卒業おめでとうございませぬ。三年前、私は皆さんと一緒にこの国府中学校の門をくぐりました。共に三年間一緒に生活を送りましたね。共に笑い、汗を流し、時には涙することもあり、皆さんと過ごした時間は、どれも忘れられない宝物です。

これからそれぞれの道を歩むことを思います。時には立ち止まったり、寄り道をすることもあるかも知れませんが、でもそれは決して無駄なことではありません。それは経験という、財産になります。皆さんには、たくさん可能性があることを忘れないで下さい。

そして、人に勝つことよりも、自分に負けない人間をめざしてください。自分のためにだけでなく、人のために汗と涙をながせる人になってほしいと思います。きっと、人の愛に満ちた人生になるでしょう。素敵な思い出をありがとう。

最大の敵は自分の心

3年2組担任 山根 和美

ご卒業おめでとうございます。4月に皆さんと出会い、「あつ」と言い聞かされた一年でした。元気な2組の皆さんに会い、いろいろと引っ張ってもらいました。合唱コンクールでは、すばらしいハーモニーを聞かせてもらいました。運動会での学級対抗リレーでは、心を一つにしたバトンをつないで優勝する姿を見せてもらいました。いつも学級のため、仲間のために精一杯頑張る姿に感動しました。2組の皆さん、すばらしい思い出をありがとうとさせていただきます。

卒業後の進む道は、それぞれ違って、自分の心の中にある弱気に負けないで前進してください。

かわいがられる人に

3年3組担任 荒瀬 淳子

皆さんとは昨年から二年間一緒に学校生活を送りました。明るく素直で、人なつこい皆さんはどこにいてもかわいがられると思います。またどこにいてもかわいがられる人であってほしいと、心から願っています。

かわいがられる人は、どこにいても「味方」をつくることができます。一人でがんばれないときに、助けてくれる人がなせか必ず出てきます。

これから先の人生は楽しいことも嬉しいこともたくさん用意されているはずですよ。同じくらい辛いことも悲しいことも出会うでしょう。そんなときに、あなたを支えてくれる「味方」を大切に、日々の生活の中にあるささやかな幸せを見つけて、明るく素直に、そしてたくましく人生を歩んでください。

皆さんの幸せを心から祈っています。

四季の心

3年副担任 吉本 節子

御卒業おめでとうございます。皆さんの今日という旅立ちの時に当たり、「四季の心」という言葉を送ります。「春夏秋冬、冬」それぞれの季節を表す言葉が持つイメージやそれが表す心を持って生活してほしいのです。

人と接する時には、穏やかに、心豊かに、暖かな春の心で。物ごとに挑戦する時には、燃えるまっすぐに夏心で。

人の話を聞く時や物ごとを考える時判断を求められる時には、先入観にとらわれないことのない澄み切った素直な心秋の心で。

最後に、自分を責める時には、自分の行動を見つめる時には、そして自分自身を振り返る時には、厳しい冬の心で。そして「四季の心」を持って、自分の選んだ道をしっかりと歩んでほしいのです。

一瞬の閃き

3年副担任 大塚 薫

卒業おめでとうございます。これからそれぞれの新しい道をしっかりと一歩ずつ歩んでいくことを思います。その道の途中で多くの壁にぶつかる事があると思いますが、自分の考え、意志を持って、歩き続けてほしいと思います。

「一瞬の閃き」とチャレンジで、きつと新しい道がひらける「中学卒業の時に、サッカー部顧問の先生が僕に話してくれた中の言葉です。閃きもチャレンジする度胸も、努力の無さげでは生まれません。努力が必ずしも実るとは限りませんが、努力したという事実は自分を裏切ることにはないと思います。いつまでも、努力することを忘れずにチャレンジ精神を持って、素敵な大人になってほしいのです。

みなさんの未来に、幸多からんことを願っています。



授業参観に行こう!! 2012

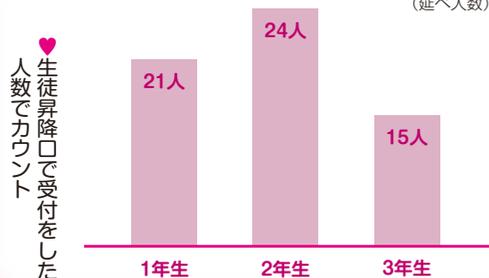


1月16日(月)5校時、「校内書き初め展」に伴う授業参観がありました。小学校低学年の時、教室に入りきれないぐらい参観に来ていた保護者の皆さんは、どこに行ってしまったんでしょう。「子どもが来なくてもいいと言ったから」「自分が中学生の時、親には見に来てほしくなかったから」「子どもが、参観日のプリントを見せなかったから」…と、理由はさまざまですが、義務教育を見守ることは、保護者の権利であり、義務でもあります。授業参観に行こう!



3学期の授業参観に行った人

(延べ人数)



3学期の参観日に

来る保護者の人数は、

1クラス平均2~4人と少なめです。

「寒い季節は、教室の戸が閉まっているので入りにくい」という声も毎年ありますが、先生方は「保護者の姿が見えたら、戸を開けるように」と生徒に指導をしています。

遠慮なく参観して下さい!



1年生



2年生



3年生

授業参観の感想

★理科室の授業は初めてでした。なかなか入りにくかったです。先に来ていた保護者の方が、中から戸を開けてくれました。

(2年生保護者)

★子どもは、自分が参観日のプリントを見せなかったら親が来ないからラクだと思ったのか、ギリギリまで時間を教えてくれなかった。教えてくれなくても、自分で調べてでも行きますが…。

(2年生保護者)

★参観日に「行きにくい」のは、行く人が少ないからでは?もともとみんなで参観に行くように声をかけ合うといいと思います。

(2年生保護者)

★落ち着いて勉強している生徒と、気が散ってそわそわしている生徒の差が目につきます。授業をしている先生には、もっと色々なことが分かってしまうんだろうと思います。毎日の授業態度の積み重ねが大事ですね。

(3年生保護者)

保護者のコラム

ウザくて、キモくてヤバイ!

えっ?今何て言ったの?もしかして「面倒くさくて、嫌な感じで、大変だ」という意味?

日本がバブル期と呼ばれていた頃、浮かれながら青春時代を過ごした世代の私たちが親になりました。物に不自由していない分だけ他人に優しくできるし、また自分自身にも甘いということを私たちは自覚しています。でも、その結果「ウザい」「キモい」「ヤバイ」を乱用する世代を育ててしまったのだとしたら残念ですね。日本語は変化していくものですが、言葉がどんどん省略されて、乱暴にまとめられてしまっています。今の中学生たちが大人になり、人の親になった時、きちんと子育てができるように、私たちは保護者として努力しているでしょうか。日本語を教えるのは学校の先生だけではありません。

世の中には、ウザいものも、キモいものも、確かにたくさんあります。ウザいから、キモいからと他者を切り捨てるのは簡単ですが、捨てた後も人生は続いていきます。その後のフォローまで、私たちは子どもに教える必要があります。

たとえば大きな言葉を使えば、いま喧嘩している相手には勝てるかもしれない。けれど言葉はその結果、本当は優しい自分の心から離れていってしまう気がします。私たち大人は、もう少し慎重に、豊かな言葉で子どもに接してあげたいですね。

とはいえ、小さい我が子に対して「ウザい」と感じた経験は誰にでも一度はあるかもしれない。人は自分の思い通りにはならないと、子育てをしながら私は知りました。でも、そんな我が子が今は自分の味方になり、支えてくれています。

ヤバイくらい、頼もしいです。

保護者の皆さんに きいてみたよ

平成23年度 国府中PTAアンケートより

PTA活動で 良かったこと & 困ったこと

「自分の子どもと学年と性別が同じ」という知り合いは、たくさんいます。でも、子どもの学年や性別に関係のない知り合いがいると、いざという時に助かるんですよ。たとえば、行事予定や進路について学年が上の保護者の方から教えてもらえたり、使わなくなった制服などをゆずってもらえたり…。あなたもPTA活動に参加して、助け合って子育てをしませんか？

PTA仲間は、セーフティネット(安全網)!

情報の

- ♡ たくさんの人と交流でき、視野が広がった。
- ♡ PTAでお互いに助け合った相手と、その後付き合いが続いている。
- ♡ 生徒のために色々な方々が尽力していることに気付いた。
- ♡ 大役ではなかったけれど、それほど大変ではなかった。
- ♡ 他人たちが役員として仕事に取り組んでいる姿を見て、刺激を受けた。
- ♡ 先生方が子どもたちにかかわってくれていることがよく分かった。

(1年生男子保護者)

(2年生女子保護者)

(3年生男子保護者)

(3年生女子保護者)

- ★ 常に役員の仕事に気にかけるため、時間に余裕がなくなる。
- ★ 入院していた時、役員の仕事の代役を立ててほしいと言われたが心に余裕がなくて心痛した。
- ★ チームワークのとれない人がメンバーの中にある場合、雰囲気の良いので2度とやりたくなくなってしまつた。
- ★ 仕事を休まなければいけなかった。
- ★ 母子家庭は、役員の仕事を免除するなど考慮してほしい。
- ★ 行事の時に、我が子が見られないこともある。

相談してくれたら考慮できます♡

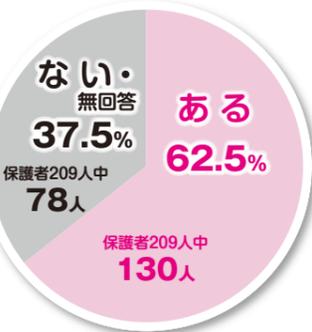
PTA役員をしたことがある人に聞いてみたよ。

良かったこととは?

困ったこととは?

小学校PTAでは、「子ども一人につき、一回はPTA役員を引き受けましょう」という考え方が定着していますが、中学校PTAではどうでしょう? 「3年間、目立たないようにおとなしくしていたら中学校で役員をしないで済むから助かる」という話をお母さん仲間から直接聞いて「すごい割り切り方だ」とびっくりしたことがあります。良いこと半分、悪いことも半分…あなたも、どう考えていますか?!

あなたはPTA役員をしたことがありますか?



★ お知らせ ★

山口県PTA連合会のPTA広報紙コンクルの審査(対象)期間が今回から変わります。今年度発行の広報紙(1~3学期分)は来年度に審査されることになりました。これは、全国審査の方法と同じです。結果発表は5月です。今しばらくお待ちください。

「こうほう国府」をお読みになった感想をお聞かせください。投稿もお待ちしています(記名のものに限ります)。

《あて先》
防府市立国府中学校 広報担当の先生行き

編集後記

「1年間に3回発行、予算はコレで」と田中会長から任せられ、中学校の広報紙を作ることに。6年間、「趣味は広報」と言い切つてがむしゃらに取り組んできました。「次はどんな文章で泣かせてもらえるんですか?」「何ページは何行目の文章が良かったです」と読者である保護者や先生方の感想は親切でポイントな指摘が多く、次の記事を作る時にも参考になりました。昨年からは山口県PTA連合会のホームページでも紹介されているので、国府中学校以外の人も「こうほう国府」の感想を寄せてくださいます。ありがとうございました。子どもが小さい時、「私なんか子育てには向いていないんだ、もうイヤ」と泣きたくなりました。そんな時、のんびりと私の夫は「こう言いました。」「子どもって、小学校5年くらいになったら面白いんだって。知り合いの〇〇さんが言っていたよ。」

2学期号で紹介した「みんないい子だよ」もそうですが、それらの言葉を頼りに最初の10年を頑張つてみたら、子育ては本当に面白くなりました。人は嬉しい言葉があったら勇気を持つことができます。子育てが分かんなくて悩んでいた昔の自分を励ますように、誰かに言葉をかけたい。そんな願いを、広報作りに実現させてくれました。国府中学校PTA広報部長 浅村かほり

STAFF

- 副部長 吉宮 東
- 部長 石田 幸志
- 副部長 吉宮 幸志
- 部長 豊田 洋子
- 副部長 吉宮 幸志
- 部長 豊田 洋子

国府中PTA ひるば



4月の役員(部署)決めのようす

今年度もPTA活動に参加して下さって、ありがとうございました! 来年度もみんなでがんばりましょう♡

暑いさかりの運動会。多くのPTA役員が汗と涙を流してくれました!



運動会の「かき氷」バザーは国府中のOBパパママが手伝ってくれています♪

みんなが喜んでくれるといいね!と笑顔の役員さんたち



国府中学校のPTA活動は、この他にも

- 朝の挨拶運動
- 環境美化作業
- 長期休み中の夜回り
- 講演会参加
- 広報紙作り
- 各種の会議への参加

等、さまざまなものがあります。参加してみたい方は、お近くのPTA役員までお尋ねください!

PTA会長	田中 裕志
副会長	末誠
監事	吉武 和江
書記	廣政 武志
査査	中尾 妙子
監事	松尾 慎弥
書記	内藤 純子
査査	重田 美恵
監事	松本 久
書記	堤早美
査査	吉末 克俊
監事	大橋 修一

平成23年度 PTA執行部メンバー



国府中学校PTA会長
田中 裕志

卒業おめでとうメッセージ

3年生のみなさん、卒業おめでとう! 国府中の3年間は色々な行事を仲間達とすごし大変有意義な日々だった事でしょう。またあつた間の3年間だったでしょう。親しい友人や先生のお別れがありますが、4月からはまた新しい生活が始まります。すでに将来の夢や目標を持っている人もいるかもしれません。新しい環境の中で、もう一度自分を見つめ直し、じつくり将来の夢や目標をみさだめてみてください。皆さんの活躍を期待しています。最後になりますが卒業生の保護者の皆さん、ご卒業おめでとうございます。3年間PTA活動にご協力またご尽力頂き誠にありがとうございました。PTAを代表いたしまして一言御礼申し上げます。

文化祭バザーは打ち合わせが大事。事業部さん(ほか多数)お疲れさまでした。



自分で「うどん」を作る田中会長さんでした…

バザーの衛生管理には気を付けています。

文化祭(雨天)バザー特設食堂…





「この社会に、守る力を。」

地震などの災害を、完全に防ぐことは難しい。でも、被害を減らすことは、できる。そのための取り組みを、「減災」といいます。大切なのは、まず自分の身を守ること。そして、身近な人と、協力すること。避難のとき、声をかけ合ったりお年寄りや、身体が不自由な人を助けたり。普段から、家族やご近所の方と話し合ってみてください。

♡詳しい情報は、「みんなで減災」で検索してください。
FMラジオ放送（内閣府・災害被害を軽減する国民運動）より



♡Photo by
サンショウ株式会社(3年生クラス写真)…P4~8
3年生保護者…P1
金子一郎・浅村岳…P12

今月の重要語句
みんなで減災【みんな・でげんさい】 東日本大震災から一年が過ぎました。ひとりでもできること
みんなで協力してできることを考えていきましょう。